

環境マネジメント

基本的な考え方

カーボンニュートラルを含めた持続可能な社会の実現に向け、環境行動指針および環境行動ガイドラインを制定しています。また、環境行動目標を定め、地球温暖化対策、資源循環、地域と連携した環境社会貢献など、幅広い環境活動に取り組んでいます。さらに、環境マネジメント体制を構築し、環境法令の遵守や環境教育に取り組むとともに、PDCAサイクルを通じて取り組みの進捗管理を実施しています。

● 環境行動指針

環境行動指針(1993年制定、2022年最終改正)は、当社の経営方針に位置づけられています。

環境行動指針

基本方針

東邦ガスは、グループ各社とともに、地域および地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、環境に関する社会課題の解決を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

指針

- 指針1 お客さま先をはじめ社会全体における環境負荷低減に貢献します。
- 指針2 事業活動における環境負荷を低減します。
- 指針3 地域・国際社会と協働し、環境貢献を推進します。
- 指針4 環境に関する技術開発を推進します。

● 環境行動ガイドライン

環境行動ガイドライン(2011年制定、2022年最終改正)は、当社グループが取り組む環境活動に対する考え方や行動内容を定めたものです。

環境行動ガイドライン

地球温暖化対策

天然ガスをはじめとする環境性に優れたエネルギーの普及拡大と高効率・高度利用、さらには、再生可能エネルギーの活用、ガス自体の脱炭素化を通して、サプライチェーン全体におけるカーボンニュートラルの実現をめざす。

資源循環

事業活動の各段階において資源の有効活用を図るとともに、廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルにより外部排出量の最小化に努める。

生物多様性保全

社会・経済の基盤となる生物多様性の重要性を認識し、事業活動における影響の把握・分析に努め、生物多様性に配慮した活動を推進する。

環境社会貢献

地域・国際社会と協働した環境活動・プロジェクトへの参画や次世代層への啓発活動などを通して、環境に関する社会課題の解決に貢献する。

技術開発

エネルギーの高効率・高度利用、水素・再生可能エネルギーの活用、CO₂分離回収やメタネーションなど、カーボンニュートラル実現に向けた技術開発を推進する。

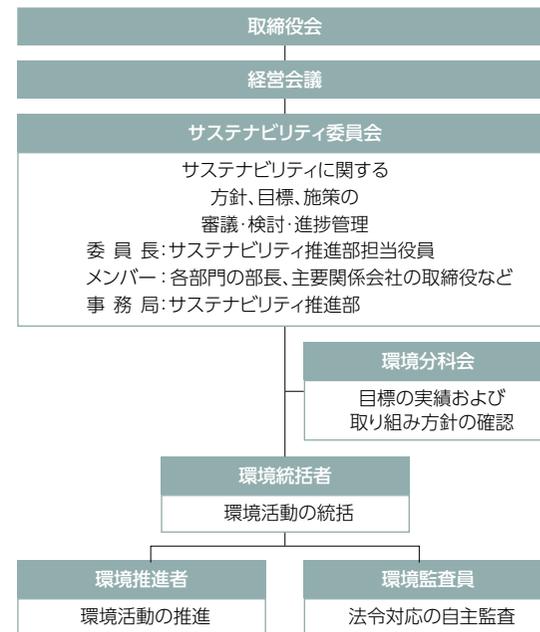
環境マネジメント

環境影響を認識し、環境マネジメントを徹底するとともに、環境に配慮し自ら行動する人材を育成する。環境に関する法令、条例および協定等の要求事項を遵守する。

● 環境マネジメント体制

環境負荷低減や環境法令遵守など、環境に関する主要課題について、当社と主要関係会社から構成される「サステナビリティ委員会」において、活動の方針・目標・各種施策についての審議・検討・進捗管理を行っています。環境行動目標に関しては、「環境分科会」において各部門の実績の振り返りや取り組み方針の確認を行っています。さらに、当社各部や関係会社に、具体的な活動の推進を担う「環境推進者」、環境法令対応の自主監査を行う「環境監査員」、それらを統括する「環境統括者」を配して、環境活動の推進に努めています。

環境マネジメント体制図



環境マネジメント

● 環境行動目標(2022~2025年度)

2022~2025年度の環境行動目標を右表のとおり設定し、達成に向けた取り組みを推進しています。2024年度実績は表のとおりです。

事業活動でのCO₂原単位抑制目標は、都市ガス工場の運用効率化などにより対前年度で2.2%改善しましたが、2022年度に原単位が悪化したことが影響し、目標期間通算では未達の状況です。引き続き省エネの徹底などによる原単位改善に取り組めます。その他の目標項目については、順調に進捗しています。

分野		目標項目	2025年度目標値	2024年度実績
環境 負荷低減	地球温暖化対策	CO ₂ 削減貢献量	2020年度比 100万t	55.0万t
		再生エネルギー取扱い量	25万kW	14.6万kW
		事業活動でのCO ₂ 排出原単位抑制	CO ₂ 原単位▲2%/年	対前年度▲2.2%*(2022~2024年度通算+1.4%/年)
	資源循環	都市ガス工場の産業廃棄物のゼロエミッション化	維持(最終処分率1%以下)	最終処分率0.73%(2022~2024年度通算)
		ガス導管工事から発生する廃棄物の再資源化率	99%以上	99.4%
		事業活動を通じた3Rの推進		 資源循環に関する取り組み 詳細はWebサイトをご参照ください。 https://www.tohogas.co.jp/corporate/ir/document/integrated/pdf/2025toho_tougou_p60.pdf https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_circular-economy.pdf
生物多様性保全	ガス導管工事での天然山砂・砕石使用量の抑制	従来工法比15%以下	従来工法比11.8%	
	事業活動や地域貢献活動を通じた生物多様性の維持・復元、里山・森林の保全、地域固有種の保護への貢献		 生物多様性保全に関する取り組み 詳細はWebサイトをご参照ください。 https://www.tohogas.co.jp/corporate/ir/document/integrated/pdf/2025toho_tougou_p61-62.pdf https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_biodiversity.pdf	
環境社会貢献	地域と連携した環境貢献活動、地域・社会課題解決への貢献		 環境社会貢献に関する取り組み 詳細はWebサイトをご参照ください。 https://www.tohogas.co.jp/corporate/ir/document/integrated/pdf/2025toho_tougou_p65.pdf https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_coexistence.pdf	
技術開発	エネルギーの高度利用、カーボンニュートラル化に向けた技術開発の推進		 技術開発に関する取り組み 詳細はWebサイトをご参照ください。 https://www.tohogas.co.jp/corporate/ir/document/integrated/pdf/2025toho_tougou_p39-42.pdf https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_carbon.pdf	

* CO₂排出原単位は、都市ガスの排出量算定条件(温度・圧力補正)を2024年度の条件に統一して対前年度増減率を算定しています。

 環境マネジメントに関する取り組み
詳細はWebサイトをご参照ください。
https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_e-management.pdf